

戰死證明書

一、戦死者本籍地

戸主名 姓 名 戸主

長男

氏名

年 月 日生

85-11



二、所属 同前部隊名

即 派遺 隊 第五四三部隊

三、戦死者 戦年 昭和二十年 役種 補役 兵種 歩兵 死亡前官等級 陸軍 少佐 在任 昭和三十九年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和三十九年九月一日 午前十時 西小三村山中

五、戦死現認ノ程度 焼死 (死体 発見)

六、遺骨 歸還ノ有無 遺骨 歸還 有

七、戦死當時ノ状況ノ概要 村に 焼死 行 不能 自決

八、死亡原因 分 不明 事由 昭和三十九年 月 日 昭和三十九年 月 日

九、其ノ他 戦死ノ原因 不明 事由 昭和三十九年 月 日 昭和三十九年 月 日

一〇、遺族ノ現在所

戦死者ノ 親類 父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和三十九年 月 日

証明者住所

戦死者ノ 關係

所属部隊名

兵種 官等級 陸軍 陸軍 少佐

氏名

市町市長證明箇所

右相違上主長 昭和三十九年 月 日

印

木將地
想住地

新編部

新編部... 兵長

兵長

一死 亡年月日

一死 亡年月日

一死 亡年月日

比島中郡名案... 院入院加...

一死 亡年月日

菜...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

一死 亡年月日

...

...

院病站兵九十三百第

七六七九威

衛 予

昭 女

長 兵

昭和二十二年

二月二十日

第百三十九兵站病院

衛生部長

野 友

[Redacted]

[Redacted]

養

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

野 友

[Redacted]

◎ 本表は、昭和六年六月廿九日世帯別死亡統計表に於て死亡したるもの

種別	性別	年齢	職業	住所	死亡年月日	死亡原因	備考
男	男	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
女	女	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
男	男	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
女	女	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
男	男	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
女	女	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
男	男	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
女	女	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
男	男	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛
女	女	20	無職	所屬部隊有	昭和六年六月廿九日	病死	死に直前腹痛

死亡者調査表

昭和六年六月廿九日

1758

1360

昭和二十二年 月

第 () 號

民生部

死亡者調査表

昭和二十二年 月

日

整理 番号	所属 部隊	姓名	生年 月日	死亡 年月日	死亡 場所	死亡 原因	備考
	正 隊	伊藤 正	1917	1942

本表は中略の部外に於て一世帯に於ては一人のみに記入し、
 記帳上の存在に於ては他部外に於ては一人のみに記入し、
 不備事項は判明するものには必ず注記するべし。

確度 丙

...

未踏返届

伊藤 正



死亡者調査表 (Table of Deceased Investigation)

昭和五年 地方世話部 (War 5, Local Welfare Department)

通稱 蔵一〇六〇八 (Alias: Saizen 10608)

本籍 籍地 (Native Place:)

[Redacted block]

昭和五年四月... (April, Showa 5)

造骨遺留品 (Remains of cremated bones)

東宮 兵長 (Prince's Guard Captain)

大洲 (Daishu)

昭和五年四月十八日 (April 18, Showa 5)

遺族 (Relatives)

公未

昭和二十二年

月

日

世

段

民生部第一世第段

死亡者調査表

昭和二十二年

月

日

署製調

判定		見所及緯經の手入料資		死亡年月日時		死亡原因		死亡直前の職務		留守現住所		本籍		年		所屬部隊		整理番号	
有	未	現住所	右現住所	昭和二十二年	九月	二日	十一時	死亡事由	死亡直前の職務	留守現住所	本籍	年	所屬部隊	整理番号					
無	有	現住所	右現住所																

〇〇〇本表中の欄外の欄以外は第一世第段にて記入するものなり
 記載上の注意並に附欄には裏面にあり(死亡直前の職務欄)
 不備事項中判明しあるものは付添に記すこと(死亡直前の職務欄)
 以上を記入してから記入の事)

死亡現証證明書

昭和 年 月 日 製

遺部隊
固有番号
通稱
本籍地

死亡場所
死亡年月日
昭和二十年九月三日五時

氏名

死亡区分
野死

遺骨遺留品

受傷箇所
頸部貫通

死亡階級

病名
一筆死

現認理由

三月五日... 野死... 頸部貫通... 一筆死... 昭和二十年九月三日五時

記載上の注意

現認事由は詳細に記入すべし
本證明書は三部作製すべし
階級は必ず記入すべし
死亡区分は必ず記入すべし
死亡場所は必ず記入すべし
死亡年月日は必ず記入すべし

元所属部隊	本籍地	現住所	階級氏名	氏名の下に必ず印を押すこと
第一〇九三部隊				



戦死確認証明書

本籍地

陸軍上等兵

一 昭和三年二月十日マライニ於現地召集

同年同日馬來液邊岡第九四部隊 部隊 隊配属

二 昭和三年九月三日マライ洋島スンガイハラニ附近山林地内ニテ戦死

停戦 命昭和三年八月下旬降下スルヤ日本軍中ノ流言飛語盛ニシテ

各部隊ニ直届部隊ヨリノ命令 数次ニワタリ変更アリ 且ニ英軍占領

軍被南沖ニ碇泊シタル領ノ上陸準備ニ急ニシテ日本軍ニ盛ニ接洽シ

テヨ告ガアリ 現地軍ノ混乱甚ク極ニ達シアリシ状況ニ一ノ八月下旬

ヨリ被南島及びプライ附近ニ上陸ヲ開始シ出レ一ニ日本軍ハ該地附近

ヲ立チカガルヲ得ズ

岡第九四部隊 部隊本部ハ当時昭南(シンガポル)ニ駐在シアリ

103-15

無線電有線電使用不能ニナリ本部トノ連絡ハ絶タル正ニナクモ時

マニヤ地区戦士担任部隊定集團ニ連絡シ、ライ附近ノ陸軍部隊ノ激収

依頼シ其ノ指揮ヲ受ケル處置ヲナス(駐南第九四四部隊ハ此地ニ於テ)

海上輸送關係任務ヲ命ゼラル(其中昭南ノ本部ヲ定ニ激収命令着

定集團(當時マニヤ太子(駐南)ハ昭南ノ向テニ九四四部隊ヲ依頼シ、附近

駐夜各機補給部隊ニ停戦後ノ收結命令ヲ發ス

其ノ命令中ニ現地ニ於テ軍属ヨリ召集サレルモノハ定集團内ノ軍政部

員ト共ニ行動スルモノナリ(内地ヲ集軍入トニ部分甚々形下ニ其移

動混乱状態ニ占領軍ノ上陸ニ術突危険ヲ心配シテ、早ク日本軍ヲ

馬来ノ山地ニ集結セラル(太子ニ集結ヲ急ガシ、此地集結地ハト

行軍スルモノ令ニテ想ヘ、随分、混雜ナリ、時ニ英軍ハ日本軍ノ命令ニシテ

武装解除シ、バタビニ集結命令ヲ發ス、マニヤヨリ作戰ニ反意アリ

其産産ハマニヤ時カカリ、混乱移動ニ果シ、又人員少数ノ日本軍ノ殺傷ヲナス

昭和三十年九月下旬漸クマライ半島のスレガイバタニ假キテテ依リ集給ヲ了ス

確ク九月二十日過キ頃ト記憶スルガクオ英軍時日本軍被殺者ガヅム林ニ死シ

アリ被殺後より被殺者名籍類ヲ隊員タルトカケ判明ス

共産匪賊地ナル故英軍護衛ヲ附スカラ検視セヨトノ命ニヨリ集結集團命ト

英軍ノ厚意トニコリ(コノ時英軍ハ印度人ニテ編成サレアリテ仲々親切ナリキ)

自今ト准尉上三名ニモ死体捜索ニ出ヅ 確カコノ時ガ昭和三十年九月廿日過

キ頃ト記憶ス マライ半島ノスレガイバタニ飛行場ヨリニテ数キロノヅム林内ニ

死体ヲ発見ス ソノ当時死体ハ齧取シ誰ガ誰カカ不名ナリシモ

君ハ先ニ集結移動命令ニヨリ別レシ時自今ノ記念名ヲ所拵

シアリ 戦死ヲ確認ス、其ノ後日本軍ノ大部ハシンガポール沖ノ無人島

レンバンヘ行キ一部ハ馬来地区ニトラ領軍ノ作業隊ニ残留ス

ホドモハ作業隊ニ残留シ其ノ中ホノミン昭(南)(ミンガポール)ノケツベル

渉外部員致ストナリ遺骨拾收時ノ准尉ト別レトウキ被殺後マデ別カレ

103-17

内地改定

多摩川等時、津村が作成シ内地に陸時ニ提出セシモノナリ

九月三日、本人の戦死日ハ確カ九月上旬頃ナルト推定セシナリ

貴課提出シタル簿ニ照レ二十年九月五日トアルハ死体発見ニ時

又ハ書類作成日ヲ記シタルモノナリシ

三、昭和三十二年九月三日、陸軍上陸兵ヲ命ス

相達ニ通シ相達ナキコトヲ証明ス

昭和二十八年四月二日

馬場誠(調)第三九四四号

陸軍大臣

相達ニ通シ相達ナキコトヲ証明ス

昭和二十八年五月廿九日

世宗

蘇州府 蘇州府 蘇州府

同治七年十一月八日

本籍地

[Redacted]

住所

本籍地

所有名

蘇州府 蘇州府 蘇州府

迎孫

蘇州府 蘇州府 蘇州府

徵集年

蘇州府 蘇州府 蘇州府

兵部

蘇州府 蘇州府 蘇州府

蘇州府

氏名

[Redacted]

住所

[Redacted]

[Redacted]

生年月日

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

勳勞

[Redacted]

病狀

[Redacted]

死亡

[Redacted]

分屬

[Redacted]

本籍地

[Redacted]

右

[Redacted]

所屬部

[Redacted]

蘇州府 蘇州府 蘇州府

官等級氏名

陸軍部

[Redacted]

死亡現認(確認)證明書

本籍地
所屬部隊

戦車第三師団車射砲大隊第1中隊(番/三三印隊)

階級(勲)

陸軍上等兵

氏名

一 死亡年月日

昭和三十年九月三日

一 死亡場所

フィリピン呂宋島

北アノホ口(ソラノ北西ノ軒山中)

一 死亡原因

戦死

一 傷名

大腿部貫通傷 悪性マラリア併発

一 遺骨状況

当時の令隊長行務の由り、姓名不明と判明せず

一 死亡當時の状態

部隊は北アノホ口陣地確保中、七九番中隊は敵陣地を襲撃中、
自中隊は陣地の確保中、九月三日死亡す。隊員は同様に悪性マラリア併発、
死す。

右現認す

現任所

昭和三十年九月三日

現認所

陸軍中尉

戦車第三師団司令部 戦車科長 佐藤 大佐

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 威第百六十九部隊 新隊 中隊

一、戦年 昭和十六年 戦場 第一團兵長兵種 騎重兵

一、官位(死歿前) 一等兵 (死歿後)

一、氏名 [Redacted] 年 月 日生

一、死歿場所 此島 [Redacted] 島 [Redacted] 島 [Redacted] 島

一、死亡区分(事由) 戦死 (マラヤ) 混合部隊に於て東進中此地に於て戦死す

一、死歿年月日時間 昭和二十年九月十一日 十一時頃

一、死歿者本籍地留中地當否 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日 元所属部隊名 威第百六十九部隊

現住所 [Redacted]

元官位 騎重上等兵

氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシク知ラセテ下サイ

宛 先 [Redacted]

世話課

死亡確證書

所属 官 軍隊 氏名 本籍地

留守擔當者

死

亡

隊司令部 曹長



全上妻

年月日 場所 病名 死因

死之理由

遺骨遺留品状況

昭和三年九月五日ヨリヨリ病起

第十四回軍野戰醫院に搬送

昭和三年十月二十日

代 頭 系
任 者 堂
名 所 條

同 身 合 部 附 子

10-112

記	部
如	

報告

事實證明書

本籍地

現任所在同

所屬部隊之馬尼刺陸軍旅旅長補理敵

比島威第一五三二部隊

共集年胎一二 役種補充後兵種勳章官等級

死亡前一等兵 死亡後上等兵

守祖言

[Redacted]

續梅父

氏

[Redacted]

氏名

[Redacted]

四北港灣海軍年月日 昭和十九年六月十四日
 致北到港年月日 昭和十九年七月五日

勤務 昭和十九年五月十五日野戰軍北兵第五聯隊二團司令部 昭和十九年七月十四日馬尼刺陸軍旅旅長補理敵第一五三二部隊
 昭和十九年七月十四日馬尼刺陸軍旅旅長補理敵第一五三二部隊
 昭和十九年七月十四日馬尼刺陸軍旅旅長補理敵第一五三二部隊

卒後受傷年月日 昭和二十一年一月二十四日

卒後受傷場所 ミンカチオ島ハレンシヤ西方約四十料地長

病名(受傷部位) マトリリ又熱帶一熱

發病(受傷)時状況 敵、空地ヨリスル攻撃激烈ニシテカフルニ食糧危機ニ遭遇シ疲勞困憊、遂ニ遠シ遠ニ病ニ罹ル

死亡年月日 昭和廿一年九月七日

死亡場所 ミンカチオ島

死亡区分 戦死

死亡時、状況 (成奇)詳細

右證明人

昭和 年 月 日

本籍地

所属部隊

馬尾利陸軍少佐(戦死) 佐賀県 佐賀市 馬尾町 馬尾五三三二番地

階級

陸軍准尉

氏名

比島

巡遊

三郎圓

三郎圓

三郎圓

陸軍一等文

右者瑞嘉三十九年九月七日

コリヤ

瑞嘉三十九年五月十九日

現認書元

三郎圓

現認書元

現認書元

現認證明書

本籍地
所属部隊

一死亡年月日時

昭和二十年九月八日六時〇五分

一死亡場所

比島呂床島中州三石末病院（病院左若明）

一死亡区分

病死

一傷（病）名

呼吸器炎、氣管炎、肺炎

一死亡當時状況

現認者

昭和二十年九月五日

現認者

現認者

現認者

現認者

現認者

4-13

現認(事實)證明書

88-12

本籍地

所屬部隊 固有名 第七十三聯隊 通稱名

徵集年 昭和二十一年 役種 現供 兵種 歩兵

官等級(昭和二十一年四月一日發令) 氏名

月 日生

- 一 死亡年月日時分 昭和二十年九月八日 時 分
- 二 死亡區分及傷病名 左胸部重傷(ラキヤカ)
- 三 死亡場所 岐阜北方山手平野
- 四 死亡状況 谷田野和入院中死す
- 五 遺骨及遺留品の有無 死亡前日本人より遺留品として御守り
- 六 死亡に関する書類の有無 有

右の通り相違ない事を證明する

昭和二十二年三月九日 元所屬部隊(固有名) 第七十三聯隊

(通稱名) 虎牙隊

現住所

舊職官等氏名

一 死亡者本籍地

二 遺守遺留品の住所(遺留品) 氏名

右の通り相違ないことを證明する

昭和二十二年四月四日

縣 部 町 長

1277

戦死証明書

6-11

一、戦死者本籍地

〔遮断〕
 戸主名 遺孀 戸主 父 〔遮断〕

氏名

〔遮断〕 年 月 日生

二、所属

〔遮断〕 隊

三、戦死者職年 昭和 年 月 日 戦死者職年 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所

五、戦死現況ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

〔手書き〕 昭和 年 月 日 戦死
 〔手書き〕 戦死現況 死後 遺骨 帰還 無
 〔手書き〕 戦死當時ノ状況ノ概要 戦死 戦死 戦死 戦死
 〔手書き〕 戦死當時ノ状況ノ概要 戦死 戦死 戦死 戦死

八、死亡区分

九、其ノ他

三、遺族ノ現住所

〔遮断〕
 戦死者ノ遺孀 父 氏名 〔遮断〕

右ノ通り戦死セラレタル事ヲ證明候也

昭和 年 月 日

説明者住所

戦死者ノ關係

所屬部隊名

〔遮断〕 隊

兵種 官警 職階

氏名

〔遮断〕

市町村長證明

右ノ通り相違無之候也

昭和 年 月 日

〔遮断〕

印

1778

現証證明書

本籍地

所屬部隊

一死亡年月日時

一死亡場所

一死亡原因

一傷名

一死亡當時之狀況

[Redacted]

昭和三年九月八日
北野山向北野大和村

戦後地

不詳

右現証又

昭和三年四月六日

現証者

元駐信部隊
階級
[Redacted]





氏名	西郷 一 部 隊	職名	兵 隊 通 達 上 等 兵	生年	一 六 一 六 年 一 月 九 日	死年	一 八 六 八 年 一 月 九 日	死因	死 時 狀 況
生年	一 六 一 六 年 一 月 九 日	死年	一 八 六 八 年 一 月 九 日	死因	死 時 狀 況	備考	終 戦 後 接 地 州 兵 隊 中 死 亡 者		
職名	兵 隊 通 達 上 等 兵	備考	終 戦 後 接 地 州 兵 隊 中 死 亡 者						

本 隊 地 區
新 部 隊 比 島 派 遣 軍 威 五 一 三 部 隊
曹 長 職 氏 名 藤 重 伍 長